学校番号	1016

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	自立支援 数学Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「新高校の数学Ⅰ」　（数研出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ 授業では、課題に対して、自ら考える活動を行います。答えが出せるための方法を覚えるのではなく、その方法を理解しましょう。
・プリントの課題に取り掛かり、各自答え合わせをして、間違った問題があれば解けるようになるまで再度挑戦しましょう。
・ 個人に合った内容を行うので、その都度変更していきます。苦手意識を持たずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	二次関数及びデータの分析における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり解決の過程や結果を批判的に考察し判断することができる。	二次関数及びデータの分析を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期 2学期	2次関数	2次関数とグラフ ・ 関数とグラフ ・ 2次関数のグラフ	a:２次関数の値の変化やグラフの特徴について理解しており、平行移動を利用して２次関数のグラフを描くことができる。 b:２次関数の特徴について，表・式・グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 c:放物線のもつ性質に興味・関心を示し，自ら調べようとする。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 振り返りｼｰﾄ
2学期 3学期		2次関数の値の変化 ･2次関数の最大･最小 ･2次関数の決定	a:２次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し、最大値や最小値、２次方程式・２次不等式の解を求めることができる。 b:日常生活における具体的な事象を数学的に捉え、問題を解決したり考察することができる。 c:日常生活における具体的な事象の考察に，２次関数の最大･最小の考えを活用しようとする。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 振り返りｼｰﾄ
	データの分析	・ データの整理 ・ データの代表値 ・ 分散と標準偏差 ・ 2つの変量の間の関係 ・ 仮説検定の考え方	a:データの分析における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。 b:データの分布の仕方によっては，代表値として平均値を用いることが必ずしも適切でないことを理解している。 c:データの傾向を把握し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 振り返りｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度